

ささえあい



かわら版

地域名

つくりみち
作道

人口	世帯数	自治会数
5,706人	2,197世帯	13自治会
65歳以上 (高齢化率)	ひとり暮らし高齢者数	
1,574人 (27.6%)	258人	
第3層生活支援コーディネーター		
3人		

※令和4年8月末現在

ささえあい事業の取り組みの経過

平成29年8月～ 準備委員会の開催 (月に1回)
 平成29年11月 「作道地域支え合いアンケート」実施
 平成30年2月 地域課題会議開催
 平成30年4月 組織の構築・事業申請
 「作道校区声かけていかんまいけ」発足

事業展開
 全体会 (推進員と地区推進員との合同) (毎年)
 研修会・講演会 年5回
 地域ふれあいサロン・100歳体操代表者会議
 令和2年4月から担当を5地区に分けて展開



つくりみち
作道
地域

1 地域のすばらしさ & 不安を話しあおう！

地域課題会議

日時 平成30年2月14日
 場所 作道コミュニティセンター
 参加者 39人

地区推進員 (自治会長、民生児童委員等) が中心になり、困りごとや不安なことに対してどのように関わっていくかなど、いつまでも安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に向け、地域住民の意識の向上を目指すために話し合いました。



地域をつよみ

新湊西地域包括支援センター、射水市民病院、新湊博物館、道の駅新湊、介護施設がある。

地域ふれあいサロン、きららか射水100歳体操が各地区で開催されている。

新しい団地が増えて、若い世代の家族が増えている。

地域のよわみ

高齢化が進み、ひとり暮らし高齢者も増えている。子どもが少なくて将来が心配される。

実際は困っているのに「人に迷惑をかけたくない」と思っている人がいる。

世代間交流が少ない。子どもの遊び場が少なく道路で遊んでいて危険である。

わたしたちにできること

地域ふれあいサロン、きららか射水100歳体操のますますの充実を図り男性の参加者を増やす。

目新しい興味深いものを見つけ、家に閉じこもらない。お誘いには乗る。

「明日は我が身」を肝に銘じて、他人ごととしない。おせっかいな人になる。

2 地域の方向性を決める活動の羅針盤！

地域づくり計画表

課題 (ニーズ)

- ・ひとり暮らし高齢者が増え、人とのつながりが少なくなっている
- ・日常生活に必要な支え合い体制が弱い
- ・車の運転ができない不便さの解消法
- ・高齢者への対応や認知症への理解

目標 (目指す地域像)

- 健康寿命を延ばす取り組み
- 気軽に相談できる人間関係づくり
- 世代間のつながりをつくる
- 「出来ること」を応援する
- 「出来ないこと」を支援する

計画 (取り組むこと)

- 「作道校区声かけていかんまいけ」通信を定期的に発行し、活動状況を紹介する。
- 地域ふれあいサロンやきららか射水100歳体操のグループが活動を継続できるような環境を整える。
- 自分の体は自分で管理する心構えを学ぶ「市政出前講座」を活用する。
- 認知症への理解を深める「認知症サポーター養成講座」に参加する。
- 自分が「出来ること」は手助けし、「出来ないこと」は助けてもらう社会づくりをする。
- 世代間交流の機会をつくる。

3 やってました！ご報告

活動事例



eスポーツに挑戦！



ちむどんどんしよう！！
 令和4年6月に県立大学において、烏山研究室が考案したeスポーツ「窓ふきの達人」を住民30人が楽しみました。

5周年記念講演会開催 「地域福祉とSDGs」

《誰一人取り残さない社会の実現》



SDGsの理念と射水市地域支え合いネットワーク事業は、多くの共通目標があることや協力は出来ないと学びました。



射水市 地域支え合いネットワーク事業

事業の概要

「射水市地域支え合いネットワーク事業」は、地域の皆さんが、いつまでも安心して暮らし続けられる地域を目指して、地域の課題を地域全体で共有し考える、**地域の皆さんによる、地域の皆さんのための事業**です。

子どもから高齢者まで見守りが必要な方たちを、「困ったときはお互い様」の気持ちで、**他人事ではなく我が事として、助け合い・支え合い**ができる地域の**つながり**を作ります。

目指すもの

1 **高齢者の健康寿命を伸ばそう**



2 **要支援者の重度化を防ごう**



3 **見守りあい、助けあいができる地域を維持しよう**

目標（目指す地域像）

いつまでも安心して暮らし続けられる地域



地域の課題

地域の皆さんで考えます

あなたの地域にもいます！

地域での支え合いの仕組みづくりを

「生活支援コーディネーター」が
お手伝いします！

どんな人？

生活支援コーディネーターは、**人と人、人と地域を「つなぐ」役割を持つ人**です。

具体的な役割

- 地域内の各種団体との連絡調整をする
- 地域の困りごと（困っている人）を適切な**地域資源**（地域の居場所や福祉サービス）につなげる など。

例えば

地域の困りごと（ニーズ）

- ⊖ 生活の困りごと
- ⊖ 気軽に集える場所がない
- ⊖ 住民同士の交流が少ない
- ⊖ 活動の担い手不足
- ⊖ 買い物・通院が大変

サービス・活動（地域資源）

- ⊕ 地域のボランティアによる助け合い
- ⊕ 地域の居場所、集いの場
- ⊕ 世代間交流の機会を創出
- ⊕ 地域の人材発掘、後継者育成
- ⊕ 移動販売車の導入、地域の商店との連携

編集後記

事業開始から5年間、手探りの連続でした。自治連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、射水市、新湊西地域包括支援センター、富山県立大学、富山福祉短期大学等々いろいろな方々のお力を借りてきました。

令和2年度からは新型コロナの感染拡大に伴い、自治会を分けて（13地区を5分割）の展開となりました。企画・運営と携わっていただくことで、支え合いの意識が高まったように思います。災い転じて福となすの一例ということでしょうか。

今後は、次世代の方々のお力も加わっての事業展開が出来ることや、世代を超えて人数制限なしの楽しめる企画が早く実現するよう願うばかりです。

みんなで支え合う社会をめざしましょう！



作道コミュニティセンター長・作道地域振興会長
第3層生活支援コーディネーター

作道 地域の担当は…

新湊西地域包括支援センター
TEL：0766-83-7171 FAX:0766-82-8283
所在地：射水市朴木211-1（特別養護老人ホーム射水万葉苑内）

「私たちもお手伝いします！」



射水市地域福祉課
TEL：0766-51-6625 FAX:0766-51-6657
所在地：射水市新開発410番地1